

第 53 回産業学会全国研究会

< 共通論題 >

社会インフラ産業への新展開

2015 年 6 月 13 日(土)・6 月 14 日 (日)

於：中央大学 多摩キャンパス

新緑の候、会員各位におかれましては、益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

本年度の共通論題のテーマを、「社会インフラ産業への新展開」といたしました。世界的に、鉄道、電力、上下水道などのインフラ市場は、急速に拡大しています。中国を中心として、インフラ向け融資を行う国際銀行も設立されました。日本政府も、現在 10 兆円規模のインフラ輸出を、2030 年に 30 兆円にするという、「インフラ・システム輸出戦略」を打ち出しています。

「社会インフラ産業」は、一般的には、「上下水道、交通システム、エネルギー、リサイクル、スマートコミュニティなどの分野」と捉えられていますが、「社会インフラ産業」については、その学術的定義は、明確とはなっていません。しかし、日本企業はこの分野で、インフラの建設だけでなく、保守・管理・運営までも一定に担ってきた欧米企業に対して、後れを取ってきたことは否めません。鉄道分野では、単に車両を生産・輸出するだけでなく、車両の整備、信号システムや列車運行システムを含めた、「鉄道事業システム」として、事業を提案・供給・管理する必要があります。鉄道システム大手 3 社である、ドイツのシーメンス、フランスのアルストム、カナダのボンバルディアは、車両だけでなく、信号システムが収益源になっているといわれています。

「社会インフラ産業」分野では、個々の企業だけでなく、関連する企業群や自治体、鉄道会社、電力会社を含めた、これまでにない新しい事業体制の構築が必要です。

「社会インフラ産業」は、モジュール化の進展、大規模受託生産の拡大によって、競争力を失った日本のエレクトロニクス産業に代わる産業として、注目を集めています。

今回の共通論題では、「社会インフラ産業」をどのように捉えるのか、日本の「社会インフラ産業」の強みと弱み（課題）は何なのかについて、みなさんと考察したいと思います。

大会実行委員長 山崎朗

大会実行委員会

苑志佳 板垣博 富野貴弘 小林世治 川端望

連絡先：大会実行委員長 山崎朗

〒192-0393 東京都八王子市東中野 742-1

電話 042-674-3442 E-mail: yama@tamacc.chuo-u.ac.jp

ご連絡

- ☆ 報告要旨集は 1,000 円です。当日受付でお支払いください。
- ☆ 懇親会費は 5,000 円です。当日受付でお支払いください。
- ☆ 事前に葉書でお弁当を申し込まれた方は、13 日受付でお弁当代 1,000 円をお支払いください。引換券をお渡しいたします。
- ☆ 懇親会は、ヒルトップ 4 階北側で行います。
- ☆ ホテルの予約は、各自での対応をお願いいたします。多摩センター、高幡不動、立川などのモノレール沿線駅のホテルが便利です。新宿からも 45 分程度でアクセスできます。

会費納入のお願い

- ☆ 会費は、7,000 円（大学院生は 3,500 円）です。受付でお支払いください。

休憩室

- ☆ 会場内の休憩室として、3156 教室を用意いたしました。コーヒー、紅茶、お茶、お菓子を用意しております。また、休憩室で昼食をとっていただいても構いません。

アクセスと会場

- ☆ 中央大学多摩キャンパス文学部棟
- ☆ 多摩都市モノレール徒歩 2 分
- ☆ キャンパスマップ <http://www.chuo-u.ac.jp/campusmap/tama/>

日程

6 月 13 日（土）

- 11 : 30 受付開始（文学部棟 3 号館 1 階アカデミックラウンジ）
- 11 : 50～12 : 50 理事会（文学部 3 号館 1 階 3157 号室）
- 13 : 00～15 : 00 自由論題報告（文学部 3 号館 1 階 3152、3153、3154 号室）
- 15 : 00～15 : 10 休憩
- 15 : 10～17 : 10 自由論題報告（文学部 3 号館 1 階 3152、3153、3154 号室）
- 17 : 20～18 : 20 会員総会（文学 3 号館 5 階 3551 号室）
- 18 : 30～ 懇親会

6 月 14 日（日）

- 10 : 00～12 : 00 共通論題報告 第 1 部（文学部 3 号館 5 階 3551 号室）
- 12 : 00～13 : 00 理事会（文学部 3 号館 1 階 3157 号室）
- 13 : 00～15 : 00 共通論題報告 第 2 部（文学部 3 号館 5 階 3551 号室）
- 15 : 00 閉会

6月13日(土)

11:30 受付開始(文学部3号館1階アカデミックラウンジ)

11:50~12:50 理事会(3157号室)

13:00~15:00 自由論題報告(報告30分、質疑応答10分)

自由論題1 自動車産業(3152教室)

司会 苑志佳(立正大学)

第1報告:王鵬(京都大学大学院)

「中国自動車における流通システムの構築—消費者からの考察—」

第2報告:菊池航(立教大学経済学部)

「自動車系列販売と特殊工具—ディーラーの関係—特殊投資—」

第3報告:知久勝弘(愛知大学大学院)

「日本のバス事業者における車両選定とメーカーの対応について」

自由論題2 電機産業(3153教室)

司会 板垣博(武蔵大学)

第1報告:東谷仁志(名古屋市立大学)

「中国車載リチウムイオン電池メーカーの動向」

第2報告:氏田壮一郎(関西学院大学)

「家電製品における「わが社の味」の形成—炊飯器開発における「おいしさ」の持続」

第3報告:Roman Bartnik(University of Duisburg-Essen)・佐伯靖雄(立命館大学)

「EV用モーターの調達戦略に関する日独企業の比較—ダイナミック・ケイパビリティの視点から—」

自由論題3 サービス産業(3154教室)

司会 杉浦勝章(下関市立大学)

第1報告:田中彰(京都大学)・黄孝春(弘前大学)・康上賢淑(鹿児島国際大学)

「貿易摩擦下のレアアース産業と総合商社」

第2報告:古川智史(東京大学大学院学術研究員)

「広告産業の歴史的展開と大手広告会社の事業所配置」

第3報告:金瑛(大東文化大学大学院)

「地域産業における革新的な場のつくり方—プロデューサーの概念を通じて—」

15:00~15:10 休憩

15:00~17:10 自由論題報告(報告30分、質疑応答10分)

自由論題4 情報と通信(3152教室)

司会 富野貴弘(明治大学)

第1報告:久保隆行(福岡アジア都市研究所)

「福岡市におけるIT企業の集積」

第2報告:相生公成(日本デル・中央大学大学院)

「IT社会の進展と製品メーカーの総合型の関係」

第3報告：湯川抗（富士通総研経済研究所、SBI大学院大学）

「ソフトウェアとハードウェアが融合する世界の展望」

自由論題5 航空機、化学、光産業（3153教室）

司会 小林世治（日本大学）

第1報告：山本匡毅（山形大学）

「中部圏における航空機産業の取引変化とクラスター形成」

第2報告：鎌倉夏来（東京大学大学院学術研究員）

「日本の大手化学企業における国際競争力ーグローバルな立地調整の視点からー」

第3報告：中道一心（高知大学）・沼田郷（青森大学）

「諏訪地域における光学技術の定着・浸透と展開」

自由論題6 リサイクル、産業政策（3154教室）

司会 川端望（東北大学）

第1報告：藤木寛人（大阪市立大学）

「首都圏における建設リサイクルにおける発展要因に関する研究」

第2報告：新美達也（ホーチミン日本国総領事館経済・経済協力班専門調査員）

「ベトナムの産業政策ー小規模工業団開発と中小企業支援策を中心にー」

17:20~18:20 会員総会

19:15~ 懇親会 会場 ヒルトップ4階北側

6月14日（日）

10:00~12:00 **共通論題『社会インフラ産業への新展開』第1部**（3551号室）

司会 小林世治（日本大学）、川端望（東北大学）

第1報告：光富眞哉（日立製作所交通システム社グローバルCSO 兼理事）

「鉄道事業のグローバル化への取り組み」

第2報告：黒田篤郎（経済産業省製造産業局長、前内閣官房内閣審議官）

「日本のインフラ輸出戦略について」

第3報告：時吉康範（日本総合研究所総合研究部門・未来デザイン・ラボ・ディレクター兼プリンシパル）

「インフラ産業の未来像についての仮説ー社会変化要因の観点からー」

12:00~13:00 理事会（3157号室）

13:00~15:00 **共通論題『社会インフラ産業への新展開』第2部**（3551号室）

討論者：野村宗訓（関西学院大学）、石田哲也（三菱商事産業金融事業本部インフラ金融事業部部長）

総合討論

15:00 閉会